



CONTENTS	●平成 29 年度国土交通省住宅局の予算と税制改正大綱…p.1	●第 19 回 東京ジャパン建材会総会が開催されました／●voice overseas…p.2	●トップ対談…p.3
	●第 37 回ジャパン建材フェア ジャパン建材による提案コーナーのご紹介…p.4-p.5	●イチ押し Bulls：ZEH にオススメ／●第 37 回ジャパン建材フェア Bulls 注目コーナー…p.7	
	●商品情報	●地域活性化隊	●合板天気図

平成29年度 国土交通省住宅局の予算と税制改正大綱

政府は、昨年(平成28年)の12月22日に平成29年度の税制改正大綱と予算を閣議決定しました。

国土交通省の住宅局では、「少子高齢化・人口減少」に対応した事業や「大工技術者育成」の事業などが新たに創設されています。

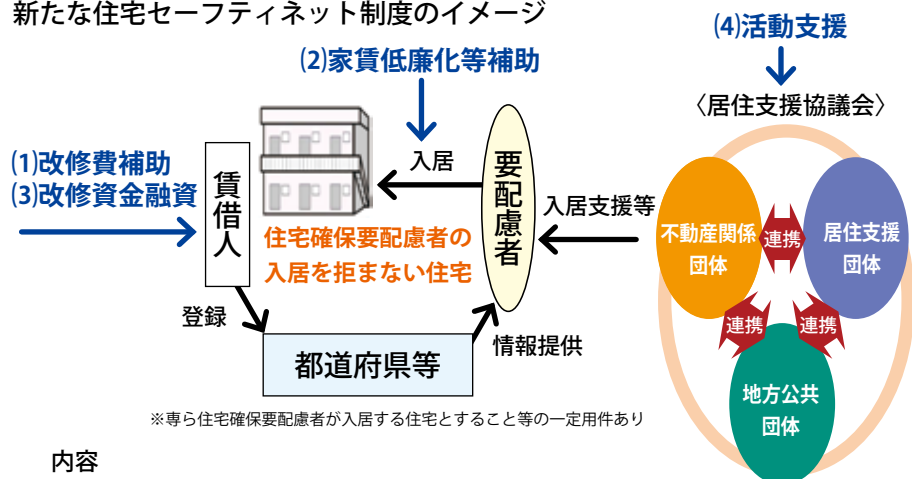
また税制改正大綱においては、長期優良化リフォーム等の促進に向けた特例措置の拡充や各種住宅関連租税特別措置の延長が盛り込まれています。新規事業や継続事業などの情報を整理して上手に活用しましょう。

本誌では、創設された事業の一部をご紹介します。

新たな住宅セーフティネット制度の創設

子育て世帯や高齢者世帯などの住宅確保要配慮者の増加に対応するため、民間賃貸住宅や空き家を活用した住宅確保要配慮者向け住宅の登録制度などを内容とする新たな住宅セーフティネット制度を創設し、住宅の改修や入居者負担の軽減、居住支援協議会などによる居住支援活動を行う。

新たな住宅セーフティネット制度のイメージ



※専ら住宅確保要配慮者が入居する住宅とすること等の一定要件あり

内容

- (1) 住宅確保要配慮者向け住宅の改修費に係る支援
- (2) 住宅確保要配慮者向け住宅への家賃対策に係る支援
- (3) 住宅確保要配慮者向け住宅の改修や家賃債務保証の円滑化
- (4) 居住支援協議会等の活動への支援

フラット 35 子育て支援型の創設

「希望出生率 1.8」の実現に向け、子育て支援に積極的な地方公共団体と住宅金融支援機構が連携し、地方公共団体による財政的支援とあわせて、住宅金融支援機構による住宅ローン(フラット35)の金利を引き下げる事により、子育て環境の整備を促進する。

フラット 35 子育て支援型のイメージ



地域に根ざした木造住宅施工技術体制整備事業の創設

急激な大工技能者の減少・高齢化に対し、地域における木造住宅施工技術体制を維持・整備し地域の優良な住宅ストックを形成するため、民間事業者からなるグループが行う大工能力者育成のための研修活動を支援する。

※その他の住宅政策については、国土交通省・経済産業省より発表されています。



平成 29 年 3 月 17 日(金)・18 日(土)
第 37 回 ジャパン建材フェア
住まい方・暮らし方
-Road to 2020-
東京ビッグサイト東展示棟 1・2・3 ホールで開催
P4～5「ジャパン建材による提案コーナーのご紹介」をご覧ください。

第 19 回
東京ジャパン建材会 総会が
開催されました

平成 29 年 1 月 18 日、ホテルニューオータニに東京ジャパン建材会会員様・賛助会員様 405 名をはじめ総勢 634 名が集い、第 19 回総会が開催されました。



第一部 講演会

演題『2017年 政治・経済の展望
～日本の役割～』

講師
岩田 公雄 氏
いわた きみお



略歴

1949 年 北海道旭川市生まれ、学習院大学
法学部卒業後、読売テレビ入社
1987 年 NNN マニラ初代特派員、NNN マ
ニラ支局開設・初代局長に就任
1989 年 中国天安門事件で惨劇の現場で取
材に当たる

「申、酉 騒ぐと言われるように昨年から騒
がしくなっている状況は、まさに不確定な時
代を象徴している。そうした世界情勢の中で
日本は、歴代首相在籍期間の長さを 4 位か
らさらに順位を上げようとしている安倍内
閣の強権のもとで安定しているが、アベノミ
クスによる経済再生効果は、東京・名古屋・
大阪に集中し、地方へ波及していない」と現
状を指摘。また世界での日本の地位をさまざ
まなデータで示し、「日本経済が再生して輝
ける日本復活を遂げ、JAPAN RISING の時
代を迎えるには、かつて米国に次ぐ経済大国
になったという過去の成功体験に浸ってい
ることが弊害になっていることを直視し、産
業ごとに個別に現状を洗い直し、知恵を出
し、個々の生産性を高めることに真剣に取り
組んでいかなければならない。また日本には、
それを乗り越える力がある」という明るい展
望を講演いただきました。

第二部 総会

【開会の辞】

副会長
株式会社コバヤシ
代表取締役社長
池田 昭義 様



【閉会の辞】

副会長（本年より就任）
春日部支部長
有限会社染谷材木店
代表取締役社長
染谷 重明 様



【会長挨拶】

会長 宇都宮東支部長
株式会社シノザキ
代表取締役社長
篠崎 務 様



「激変の時代にあり、全ての
ものがインターネットにつ
ながる IoT の進化は我々の
業界での選別も加速してい
くのではないかと。2020 年東
京オリンピックの年は、日
本の世帯数が減少に向かい、
その 10 年後は、新設住宅
着工数は 50 万戸を切って
いくという予想もある。そ
う中で仕事をしている我々
の存在意義は、お施主様の
満足のため、幸せ追求のた
めにある、ここを絶対に間
違えないことが肝要。これ
から押し寄せてくるさまざ
まな高い波を乗り越えるた
めの勉強をし、知識を蓄え、
戦略を練るための情報の発
信基地とし、東京ジャパン
建材会一丸となって酉年の
2017 年を大きく羽ばたいて
いきたい」と新年の抱負が
語られました。

【JKホールディングス(株)挨拶】

代表取締役社長
青木 慶一郎



「IoT や AI の技術革新で
家電や住宅に使われる資
材も、施工方法も変わり、
商売自体も変わるかもしれ
ない。これから 5 年後、
10 年後に、今年がそうい
う変化の転換点であった
といわれるのではないかと
思われる。そういった
中で我々は、住宅着工数
が減っても、いろいろな
形で需要を喚起し、より
よい住環境づくり、より
質の高い住宅づくり、お
施主様に満足いただける
住宅づくりに貢献してい
きながら、お取引先様
のお役に立つよう頑張っ
ていきたい」と抱負を述べ、
ご愛顧をお願いしました。

【賛助会員代表挨拶】

ニチハ株式会社
代表取締役社長
山中 龍夫 様



2017 年の世界のリスクに
1 位「唯我独尊のトランプ
のアメリカ」、2 位「その
アメリカに対して過剰反
応する中国」、3 位が弱体
化するドイツのメルケル
政権」が挙げられるほど
世界各国が大きな課題を
抱え、激動の年を迎えて
いる。その中で我々住宅
業界の環境は引きつづき
堅調に推移するだろうが、
対グローバル化へのアン
チテーゼの流れが今後 20
年～30 年は続くと思われ
る。そのような中で生き
抜いていくためには、サー
ビスや商品にどのような
付加価値を生み出すかが
重要。その戦略を推進す
るジャパン建材様とタッ
グを組んで販売店様支援
に努めたい」と心強いエ
ールを頂きました。

【ジャパン建材(株) 挨拶】

代表取締役社長
小川 明範



年初一番に取りざたされたの
は「働き方改革」。若い世
代に住宅建材流通業界に魅
力を感じて入ってきてもら
うには、当社だけでなく業
界を挙げて「働き方」の意
識を変えていく必要がある
。そうした挑戦一つ一つに
皆様と一緒に
なって乗り越えていきたい
。と抱負を述べた。また「
今年 80 周年の節目を迎
えるにあたり、企業理念の
『快適で豊かな住環境の
創造』に非住宅分野も含
めた形で快適で豊かな住
生活環境の創造という事
業活動を愚直に進め、
「We love JAPAN, We
need JAPAN（ジャパ
ンが好きだよ、ジャパ
ンが必要だよ）」と皆様に
言っていただけ、WIN－
WIN の共存共栄の関係を
強化していきたい」と、
今年 80 周年のグループ
の節目に改めて方向性を
表明し、倍旧のご愛顧を
お願いしました。

VOICE
overseas

JK ホールディングス(株)海外事業室は、国際分業が進む住宅建材・素材の動きやトレンドをグローバルな視点でキャッチ。JK グループ各社のビジネスをバックアップしています。

Interra USA、大建工業と IBS (International Builders' Show) に
“ 初 ” 共同出展

アメリカのフロリダ州オーランドで 2017 年 1 月 10 日～12 日に開催された NAHB 主催 International Builders' Show 2017 に Interra USA は、大建工業様と共同出展させて頂きました。この展示会の歴史は長く、1942 年から毎年開催され今年で 75 回目となり

ます。毎年約 10 万人の来場者数（3 日間）があり、出展メーカーは 1,500 社を超え、ミラノサローネ・モズビルドに並ぶ世界規模の建築建材展示会となっています。そのなかで大建工業様の製品（畳、ドア、床材、天井材、MDF）を展示し、多くの注目を集めました。



不動木材 株式会社

【会社概要】
本 社 札幌市白石区平和通 10 丁目北 7 番 35 号
創 業 1960（昭和 35）年
設 立 1963（昭和 38）年
資 本 金 3,000 万円
年 商 55 億 2,000 万円（平成 28 年 3 月）
従業員数 52 名

代表取締役 会長
増子 哲朗 様

ますこ てつろう

【プロフィール】

1949（昭和 24）年 北海道に生まれる
1972（昭和 47）年 拓殖大学を卒業
小川木材工業株式会社に入社
1983（昭和 58）年 不動木材株式会社恵庭支店長に就任
1987（昭和 62）年 恵庭支店取締役支店長に就任
1989（平成 元）年 不動木材株式会社常務取締役に就任
1999（平成 11）年 専務取締役に就任
2005（平成 17）年 代表取締役社長に就任
2015（平成 27）年 代表取締役会長に就任



共存共栄 事業は人なり

牛舎を借りて創業

小川 平成 29 年最初のトップ対談にご登場いただきありがとうございます。

さっそくですが、不動木材株式会社様の発祥から、順を追ってお聞かせいただけますでしょうか。

増子 初代社長である増子正英は、昭和 35 年まで社員数約 300 名を抱える製材会社の熊沢木材株式会社に勤めていました。そこが閉鎖することになり、同社札幌支店の営業基盤を継承し、牛舎を借りて看板を掲げたのが昭和 35 年。昭和 38 年 3 月 8 日に資本金 500 万円で不動木材株式会社を正式に設立しました。当初は、湯浅貿易株式会社と不動建設株式会社への製材販売を行っていましたが、販路を少しずつ広げ、事業も拡大して今日に至っています。

小川 ご創業者は増子会長のお父様ですね。

増子 はい。父は大正 12 年に、中国の吉林で大々的に事業をしていた祖父・増子石太郎の一人息子として生まれ、吉林で育ちました。昭和 16 年に東京農大予科に入りましたが、中退して陸軍予備士官学校に入隊して終戦を迎えました。父から「もしも終戦が 1 年遅かったら、20 代で自分の命はなくなっていただろう」という話を聞きました。

会社は『公』のもの

小川 増子会長は、お父様の後を継がれたのですか。

増子 平成 6 年に二代目社長に就任したのは、父と同じ熊沢木材に勤めていた縁で不動木材設立直後から父と共に頑張ってきた小倉明さんです。

小川 経営が同族の手から一度は離れたということですか。

増子 父は、会社設立当初から「不動木材という会社は増子一族のものではない、『公』のものであり、利益を追求する集団であり、同族に頼ることは避けなければならない」という考えをもっていました。ですから、私たち三人兄弟が将来的に同じ会社で仕事をしなくても良いようにと、不動木材本体、昭和 39 年から仮設事務所向けプレハブ用パネル製造を手掛ける恵庭工場としてスタートして建材販売に取り組むようになった恵庭支店、不動ホーム、この三つの事業を用意しておいたくらいです。

小川 将来を案じて御子息それぞれの器を用意されていたということですか。

増子 そうです。三代目は私の兄である裕英が継いだのですが、平成 16 年の社長就任からわずか 1 年 3 か月で急逝したため、次男の私が平成 17 年に四代目社長に就任しました。

小川 平成 17 年は、私がジャパン建材に入る前の年です。

増子 不動木材は、創業以来、社長の権限は抜群に強く、私も 40 歳の頃から役員会議に出席していましたが、社長の決めたこと

が覆されるようなことは一度もありませんでした。やはり中小零細企業の社長にはカリスマ的な存在感がないと、社員を引っ張っていけないと思います。

小川 トップダウンが効くヒエラルキーであるべきだというお考えですね。

経営は守勢が基本

増子 手元に残している国土交通省が旧建設省時代の昭和 25 年から統計をとっている全国の新設住宅着工戸数を見ると、当社の第 1 期であった昭和 38 年には全国の新設着工戸数が 688,743 戸、このとき北海道は 31,250 戸でした。

小川 東京オリンピックの前年に北海道ではかなり住宅が建ったのですね。

増子 全国戸数の 4.5%を超えていました。

小川 そんな時代があったのですか。

増子 ところで、小川社長は、住宅着工戸数が一番多かった年をご存知ですか。

小川 確か 190 万戸台でしたね。

増子 全国では 1,905,112 戸、北海道で 115,000 戸が建った昭和 48 年がピークでした。

それが、リーマンショック後の平成 21 年には全国の着工戸数が 78 万 8,410 戸と一気に 80 万戸を切り、北海道も 26,758 戸と 3 万戸を切りました。

一方、当社第 1 期の売上額は 1,840 万円。15 期に初めて 10 億円を突破して 11 億 7,000 万円。27 期に 20 億を突破して 20 億 8,000 万円。第 35 期で 30 億 3,000 万円。44 期で 40 億円を突破して 44 億 4,000 万円。51 期で 50 億円を突破して 51 億円になりました。

小川 ほぼ 10 年ごとに 10 億円ずつ業績を積み上げてこられたのですね。

増子 54 期が 55 億 2,000 万円、この時は、全国の住宅着工戸数が 909,299 戸、北海道で 33,770 戸でした。

昭和 48 年のピークを境に住宅着工戸数は減少への道を辿っているというのが現在の我々の業界ですが、当社は創業以来、住宅着工戸数が減少に転じた後も、売上は増えてきています。しかも、歴代社長誰一人として赤字を出したことがない、これは褒められるべきことだと社内でも話しています。

ただ、歴代社長が売上増を重視してきたのに対して、私は利益率改善に努め、経営の健全化を推し進めました。

小川 増子会長ご自身は、具体的な経営手法をどのようにして学ばれたのですか。

増子 実は、創業者が会社設立時に事細かに経営のマニュアルを遺してくれています。創業の頃から社員教育に熱心に取り組み、就業規則もあり、そのマニュアルに則った経営を歴代社長が踏襲し、周年記念行事の国内外への記念旅行も実施しています。

小川 従業員がやる気になり、頑張っているということですね。

増子 そのとおりです。創業者は、「この会

社で生活する人達に幸いをもたらしものであることを確信する」という言葉を遺していますが、経営者の目指すところは、この一点に尽きると思います。

同時に私は、大手企業トップとの交流の機会などを通じて、時代の変化に合わせた当社の経営を考え、将来への方向性を考えるヒントを得てきました。

小川 初代が遺された経営マニュアルについて、もう少しお聞かせいただけますか。

増子 大きな柱としているのは、「経営は守勢が基本」、赤字決算を出さないことです。

かつての木材店は、4 月から 6 月に資金がショートする傾向にあり、その間は銀行から借入れ、12 月に返済するということを繰り返していました。そのためには金融機関から厚い信用を得なければならなかったもので、達成可能な短期・中期の目標を設定し、資金繰り表を作成して無理のない戦略を立てることで問題を解決し、信頼につなげてきました。

後継者を得て 60 億円規模を目指す

増子 実は、私は 61 歳でリタイアして、妻と温暖な気候の国で暮らす計画を立てていたので、兄が専務になった時に不動木材本体の常務になりました。ところが 56 歳で社長を継ぐことになり、ほぼ 10 年間、とにかく初代社長の遺した社是社訓を堅守し、会社の発展に努めました。

おかげさまで無借金経営という財政基盤を実現し、66 歳を迎えた平成 27 年に後任社長に石黒を指名し、私は会長に就任しました。石黒社長が今年 52 歳、将来の営業部トップとなる川辺本部長が 48 歳、当社も若い世代に頑張ってもらわないといけません。



小川 不動木材様として、この先の方向性をどのようにお考えでしょうか。

増子 社外的には、お付き合いいただいている工務店様と仲良くし、社内的には社員教育を徹底していく、まさに創業者が掲げた経営理念「共存共栄 企業は人なり」を実践することです。この書は、書家・文化文筆家の宇佐美志都（うさみ しづ）さんに当社 50 周年の記念に書いていただいたものです。

小川 すばらしい社是社訓ですね。

増子 大手企業と中小零細企業との大きな

違いは、例えば、役職よりも年功序列が優先してしまう、組織図がありながらそれが有効に機能しないところだと思います。そういう意味では、5 年前に大卒 6 名を採用し、それが不動木材の体質強化につながってきていると確信しています。

時代や世の中の流れに沿って経営の手法は変わると思います。今一番、私が強く感じているのは変化のスピードが速くなっていること。ですから決断も速くしなければなりません。同時に社長の考えが社員一人ひとりに即座に届くようにする指令システムの構築、ラインづくりが必要です。それに不可欠なものは幹部社員の育成です。

小川 それについては私も共感します。

増子 私が社長に就任した年に大手住宅設備・建材メーカーの皆さんが、全国の新設住宅着工戸数 60 万戸、北海道で 2 万戸前後になっても食べていける企業体質にしなければいけないと仰っていました。

さらに野村総研の見通しでは、新設住宅着工戸数は 2020 年度に 80 万戸を切り、2030 年度には 60 万戸を切って 54 万戸にまで減少すると言われています。ですから、これからの 10 年間は当社にとって非常に大事な期間になるという認識を強くもって進んでいかなければいけないと、石黒社長とも話をしています。

最近では、長期的なビジョンが出しにくくなっていますが、現在、当社の従業員数は非常勤を含めて 52 名います。これは 60 億円の年商が出せる体制ですので、できるだけ早期にそれを実現したいと思います。

そのためには、まず社員教育をすること、毎年新規開拓をして 1,500 口座にすること。

小川 新規開拓はまだ可能ですか。

増子 つぶさに調べると、まだまだあります。特にリフォームを手掛けているのは既存の工務店さんだけではありませんから。

小川 不動木材様の強さは、創業以来の社是社訓があって、なおかつ、就業規則や資金繰りなど経営の基盤が早くからマニュアル化されていて、歴代経営者が積み重ねてこられた点ですね。

増子 それぞれの社長が、前社長がマニュアルで実行できなかったところを実行してきたからこそ今日の不動木材があると思います。石黒社長は、私にできなかったことを実行して、マイナスをプラスに変えてくれると思います。

年一回の幹部会議で私が社長最後の年に幹部社員に「幹部社員として注意する勇氣を持ってくれ」という言葉を贈り、昨年の年初挨拶で「謙虚さ」について話しました。
小川 私も好きな言葉の一つです。「謙虚さ」がない人間は人から学ばせんからね。

本日は、初代から受け継ぐ経営マニュアルについて興味深いお話をお聞かせいただきましてありがとうございました。

私たちも、私たち自身が正すべきことを正し、なお一層お役に立てる問屋を目指して参ります。本年もご指導・御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

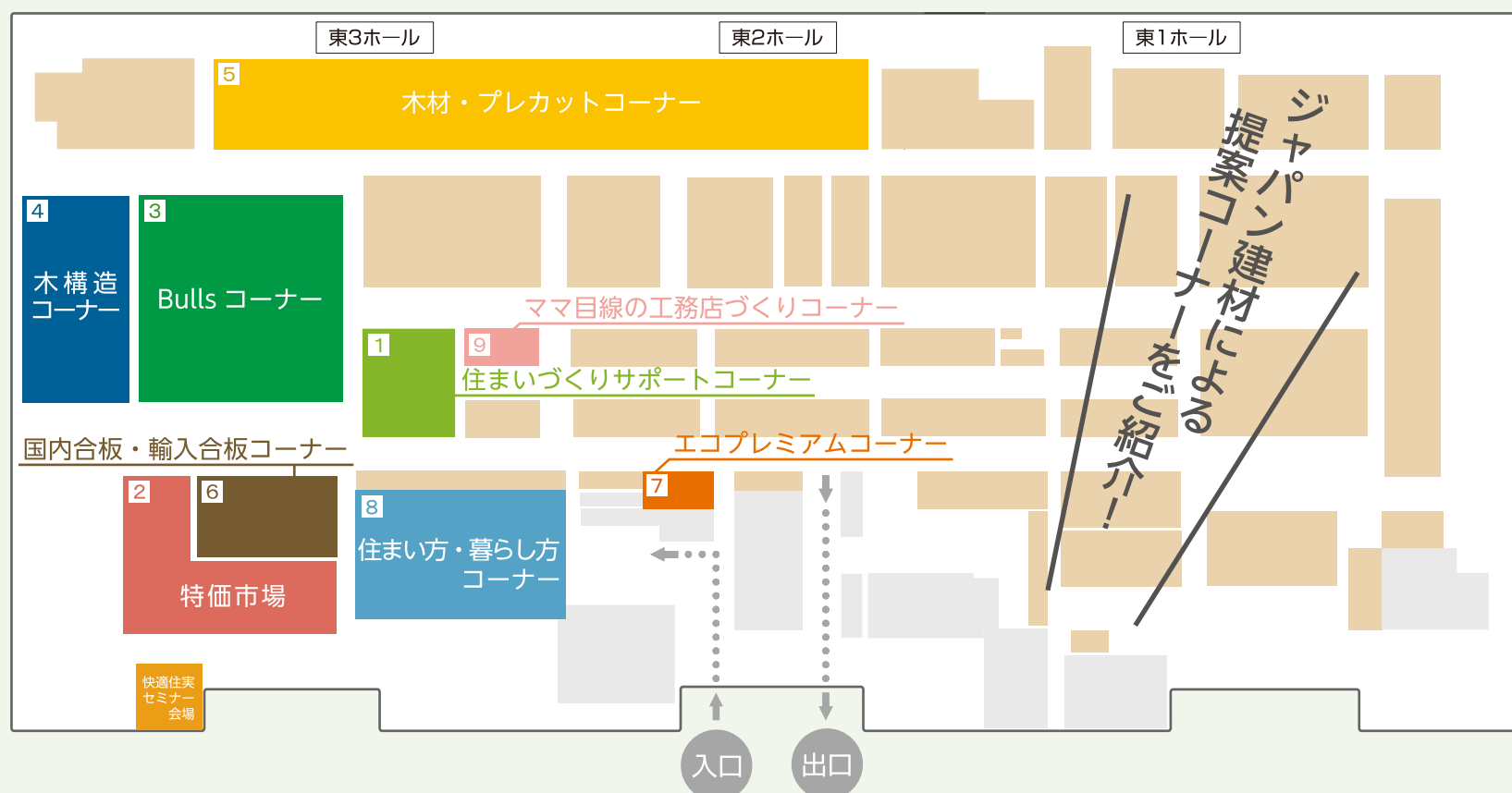
特集 ▶▶ 第37回ジャパン建材フェア

～ジャパン建材による提案コーナーのご紹介～

JAPAN
KENZAI
FAIR 37th

テーマ「住まい方・暮らし方 -Road to 2020-」

2020 年は様々な業界においてターニングポイントとなる年。東京オリンピックを始め、住宅業界では省エネルギー基準の適合義務化が始まります。「住まい方・暮らし方-Road to 2020-」には、「2020 年までに必要となるモノ(商材)やコト(情報)をジャパン建材フェアでお持ち帰りいただき、2020 年に向かっていこう!」という思いが込められています。



1. 住まいづくりサポートコーナー

ゼロ・エネルギー住宅 (ZEH) の仕様や省エネ機器などを体感できる

ゼロ・エネルギー住宅 (ZEH) 体感コーナー

熊本地震の被害状況と原因から対応・対策や商材に見て触れて学べる

熊本地震に学ぶ耐震・制振体感コーナー

ZEH や地震関連、2020 年に向けた住宅政策などのご説明やローンの相談会を実施

これからの住宅作りに役立つセミナー & 相談会



2. 特価市場

多数メーカー様とタッグを組み、各種建材をお値打ち価格にて販売しております。チャンスは 2 日間! なくなり次第終了となります。

3. Bulls コーナー

ジャパン建材のプライベートブランドである「Bulls 商品」を一挙に展示。約 460 アイテムの Bulls 商品に加え、実演紹介も行っております。

詳しくは 7 ページへ

4. 木構造コーナー

中大規模木質構造向け工法紹介や CLT 告示に関する説明コーナーが見どころです。木材の現状や非住宅木造設計の実例を中心にした「木質実践セミナー会場」も当コーナー内にございます。

5. 木材・プレカットコーナー

日本各地の良材産地からの国産材・構造材・化粧材・国内外の森林認証材に見て触れて、その良さを感じていただける「木材・ストリート」を出展させ、ジャパン建材の木材・プレカットを一挙ご紹介!

6. 国内合板・輸入合板コーナー

今年 5 月施行されるグリーンウッド法に則した商品ラインナップを展示します。環境性を配慮した新商品を PR していき潜在需要の取組みを強化していきます。

7. エコプレミアムコーナー

太陽光発電システム、蓄電池、LED 照明などメーカー各社の製品を展示して、ご提案します。

8. 住まい方・暮らし方コーナー

住まい方・暮らし方コーナーとは

「理想の住まいと幸せな暮らし」についてご来場者さまと一緒に考える場となっています。つくり手である工務店さまには、住まいと暮らしの両面からその為のお役に立つ情報を展示します。今回は、建築専門雑誌『建築知識ビルダーズ』とのタイアップ企画第5弾として、東京大学の前准教授に監修に入ってくださいます。

健康編

31

32

第31・32回のテーマ
「健康・省エネ ～快適な住環境の提案～」



第31・32回

設計編

33

34

35

第33・34回のテーマ「くつろぎ」
第35回のテーマ「永く住まう」



第33・34・35回

▶▶▶ 快適な住まいへの道のり ▶▶▶

当コーナーでは「快適な住まいへの道のり」として、家づくりに関わるさまざまなテーマを展示してきました。「健康編」から始まり、建築家の伊礼智氏と造園家の荻野寿也氏監修による「設計編」を展示しました。前回より新たに歩み始めた「温熱編」の第2章として、今回も前准教授監修のもとに展示いたします。前准教授の研究から見えてくる快適な住まいづくりと一緒に紐解いてみましょう。

温熱編

36

37th



▲サーモビジョン

▼夏の日差し対決！



◀窓の日射体験

to be continued



東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻
准教授・博士(工学)

まえ まさ ゆき

前 真之氏

1975年生まれ '98年東京大学工学部建築学科卒業。2003年同大学大学院博士課程終了。'04年建築研究などを経て、29歳で東京大学大学院工学系研究科客員助教授に就任。'08年同建築学専攻准教授。空調・通風・給湯・自然光利用など幅広いテーマを研究し、真のエコハウスの姿を追い求めている。現在、暖房や給湯にエネルギーを使わない無暖房・無給湯住宅の開発や研究に取り組んでいる。

9. ママ目線の工務店づくりコーナー

ママ目線の工務店づくりコーナーとは

NPO 法人ママの働き方応援隊と共催で行う当コーナーは、子育て現役世代のママたちと工務店さまが交流できる場を設けています。通常はエンドユーザーであるママたちが、先生や相談相手となって工務店さまへアドバイスやお悩み相談をいたします。前回初めてつくった当コーナーは大反響であり、今回もグレードアップして再登場します。さまざまなコンテンツをご用意してお待ちしております。

ママの本音！

住まいへの想いを語る トークセッション

ママたちがステージに立って、住まいづくりに関することをさまざまなテーマで話します。エンドユーザーでもあるママたちのリアルな声を聞きにきませんか？皆さまからのご質問にもお答えしながら一緒につくっていくトークセッションとなっております。



NPO 法人ママの働き方応援隊

代表理事

めぐみ

ゆきこ

恵 夕喜子

設立：2007年9月20日

本部：兵庫県神戸市

ママたちの想いに共感できる企業とパートナーシップを組ませていただくことでお互いの事業が発展し、よりよい社会の実現へとつながることを目指します。

ママと話そう！

対面式でママと話することができる場を設けております。工務店さまの「チラシ」「SNS」「HP」などをママ目線でアドバイスします。「ママ200人に聞いた住まいに関するアンケート」も、当コーナー限定で特別公開！

ママに相談中！▶



特別ワークショップ開催！

快適住実セミナー会場にて、工務店さま向けのワークショップを行います。ジャパン建材フェア限定でママたちが先生となって一緒に取り組むワークショップです。



目指したのは、リビング空間での美しいキッチン THE CRASSO (ザ・クラッソ)

TOTO 株式会社

LDK 空間の調和を乱さないためのシンプルで凹凸のない全体デザイン。
無駄を徹底的に削ぎ落としたノイズレスデザインの「ザ・クラッソ」新登場。



【タッチスイッチ水ほうき水栓 LF】

1. 幅広のシャワーが泡や汚れを素早く洗い流します。
水の出し止めが、先端のタッチスイッチで簡単にできます。
2. 浄水器兼用のスリムなボディ。
3. 懐が広く、大なべ洗いもスムーズです。



【きれい除菌水】

TOTO のクリーン技術「きれい除菌水」。
キッチンワークの仕上げにふきかける
ことで、3 つのきれいを実現します。



まな板・包丁きれい



まな板、包丁の汚れを落としたあと、仕上げに「きれい除菌水」を吹きかけることで、まな板、包丁の除菌ができます。
いつもきれいな道具で気持ちよく調理できます。

ふきんきれい



使ったふきんを水で手洗いしたあと、仕上げに「きれい除菌水」を吹きかけることで、においや黄ばみをおさえます。
翌朝も気持ちよくふきんをお使いいただけます。

網かごきれい



網かごのごみを捨て、水で洗ったあと、仕上げに「きれい除菌水」を吹きかけることで、嫌なぬめりをおさえます。網かごのきれいが長持ちします。(最終使用の8時間後に自動噴霧します)

暑がりさんと寒がりさんの霧ヶ峰誕生 ルームエアコン FZ シリーズ

三菱電機株式会社

ルームエアコン「FZ シリーズ」は、一人ひとりの温度の感じ方を見分けて、2 つの
風で同時に快適、暑がりさんも寒がりさんも快適にお使いいただけるエアコンです。

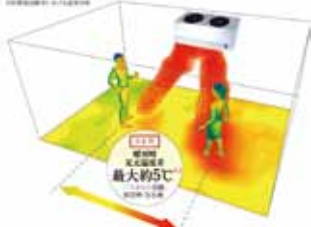
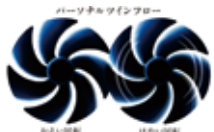
【暑がりさんも、寒がりさんも同時に快適「ムーブアイ極」】

360°センシングの「ムーブアイ極」は、お部屋だけでなく、
人の手先・足先など細部を含む体の温度変化を 0.1℃単位
で見つめることで、あなたの「暑い」「寒い」という温度の
感じ方を検知します。



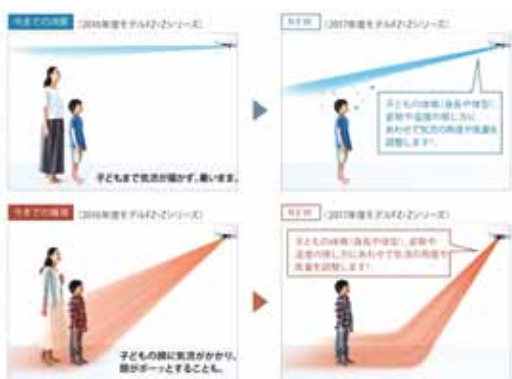
【世界初左右独立駆動の「パーソナルツインフロー」】

左右独立駆動の2つのプロペ
ラファンが2つの温度帯を
創り出し、足元温度差最大約
5℃まで変えられるから、二
人同時に快適がかないます。



【家族みんなをみまもる霧ヶ峰「みまもり空調」】

子どもの体格(身長
や体型)、姿勢や温度
の感じ方にあわせた
制御と気流を実現。
お母さんとお子さん、
それぞれにあわせて
快適にします。



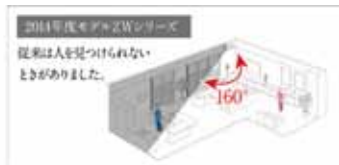
【ムダなく快適にあたためる「360°センシング」】

床や間取り、日射熱など「体感温度」
に影響する様々な要素を見つめること
で、ムダなく快適にします。



【360°センシングでムダなく快適】

死角が発生しがちな隅っこの設置の場合でも、
お部屋や手足を見つめて、
あなたにあわせた
快適をお届けします。



ハウスデポ・リフォーム

加盟店募集

ハウスデポ・リフォームは
大工・工務店様のリフォームの取組みを支援し
「独立したローコスト経営」を応援いたします。

費用を抑えた
リフォーム事業の
取組み

WEBサポート
による
企業紹介

全国に広がる
ハウスデポ
グループ組織

各種チラシの
作成

グループによる
イベントの開催

共通ロゴによる
販促ツール

株式会社 ハウス・デポ・ジャパン

ハウス・デポ・パートナーズは 工務店と家づくりを住宅ローンと各種保険で応援します。

ハウス・デポ【フラット35】+【ハートシステム】 または
ハウス・デポ【フラット35】+【つなぎローン】+【ハートシステム】

ハウス・デポ【安心パッケージ】

ハウス・デポ【安心パッケージ】ご利用で	ハウス・デポ【フラット35】の おトク1 融資手数料 2.0% (税別) ▶ 1.5% (税別) に!
	ハウス・デポ【つなぎローン】の おトク2 融資手数料 100,000 円 (税別) ▶ 30,000 円 (税別) に!
	おトク3 通常金利より 0.5% 優遇!

長期固定金利住宅ローン
ハウス・デポ【フラット35】

※ハートシステムをご利用の方に対してはフラット35と
つなぎローンの手数料及び金利の優遇を行っております!
くわしくはお問い合わせください!!

お問合せ・お申込みは・・・

【三井物産・JKホールディングスグループ企業】
株式会社ハウス・デポ・パートナーズ
フリーダイヤル: 0120-887-800
Mail: hdp@housedepot-p.co.jp
担当: 営業部 伊東、北野、荒谷、伊坂、村田

貸金業登録番号 関東財務局長(1)第01508号
日本貸金業協会会員 第005893号

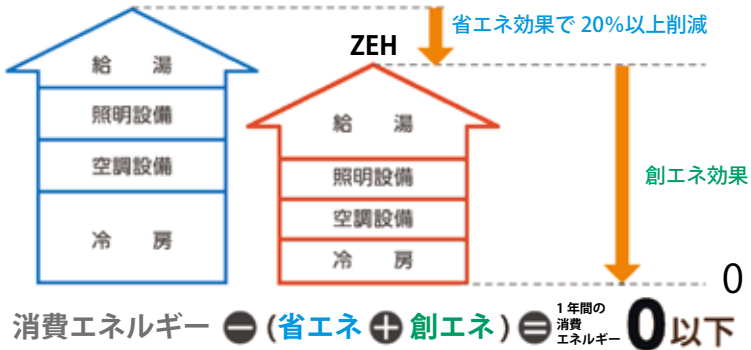
イチ押しBulls - ZEHにオススメ-

エネルギー基本計画において「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均でZEHの実現を目指す」とする政策目標を設定しています。Bulls商品には、ZEHに必要な「断熱」「省エネ」「創エネ」商材を各種ご用意しております。本誌でその一部をご紹介します。

● ZEH とは？

外皮の断熱性能などを大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入や、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅。

省エネ基準の住宅



● ZEH するには？

「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」「HEMS」を組み合わせる必要があります。太陽光発電システムを載せただけではできません。



ジュピー

最適な床充填専用断熱材

ネオマフォームと同じ断熱性能(熱伝導率 0.020W/m・K)を持ち、床充填用に合う用に改良を加えています。経年劣化が極めて少なく長期性能維持が可能。フルプレカットにも対応します。



バリアーボックス・ドームパッキン・メバリーロング

断熱性能を上げるには、高気密化がカギ

断熱材の性能を発揮し、計画的な換気を可能にするためには住宅の高気密化が欠かせません。断熱欠損となりやすい箇所である「コンセント廻り」「スリーブ廻り」の正確な施工をアシストする気密簡素化商品です。



24 時間換気システム

高まる意識とニーズ

第三種換気から熱交換換気まで、ZEHへの取組をサポートいたします。建築基準法によって定められている24時間換気システムは冷暖房効率に影響を及ぼすため対策が必要です。



ハンファ Q セルズ

価格×実発電量×保証制度

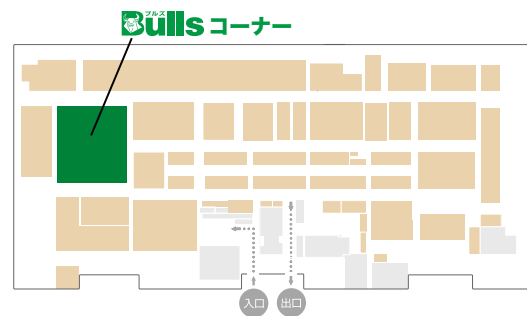
屋根材問わすのシステム kw 単価で概算金額の算出も容易に行えます。また、他社の多くでは有償扱いとなる保証や損害補償を商品販売価格の中に含む為、分かり易く、煩雑な手続きも不要となることも大きな特徴です。



第37 回 ジャパン建材フェア

Bulls 注目コーナー

新商品や当日限りの特價品、毎年恒例の実演コーナーなど役立つ商品や企画を取り揃えてご提案致します。ご来場の際は、是非お越しください。



ブルズパック コーナー

当日限り、売り切れ御免の大好価

恒例となった大好評企画も前回と異なるアイテムを取り揃えてお迎えします。ご使用シーンに合わせた「パックプラン」と10種類のアイテムからお好きなものをお選びいただける「セレクトプラン」をご用意しています。



LED 照明 コーナー

ダウンライトが驚きの価格で新登場

住宅照明からオフィス・倉庫のLED化も。快適に暮らせる、働ける環境を、お客様に合わせた最適なソリューションでご提案いたします。ご好評いただいているシーリングライト、ダウンライトもこのコーナーで販売します。



※ 画像は、イメージです

Demonstration コーナー

今期の注目アイテムが登場

ZEHに適した新商品や省施工品をローテーションで実演します。商品展示だけでは分かりにくい特徴も10分で丸わかり。明日からの営業、施工にお役立ていただけます。



シマウマコレクション コーナー

お施主様が求める収納とは

ママたちの声から生まれた「省スペースしっかり収納」をご提案いたします。適切に区切られていて、無駄なくスペースを使い切ることで見やすく使いやすい収納を実現します。



ガーデンエクステリア コーナー

暮らしに安らぎを

デザイン×機能性で心地よい空間をご提案いたします。デッキだけでは寂しさを感じる庭まわりにも、アクセントを加えてくれるパーツやガーデンファニチャーをご紹介します。



めざせ
地域活性隊

ジャパン建材
西日本グループ
九州営業部
長崎営業所



所長 杉山 哲也

長崎営業所が所在する長崎県は総面積4,132km²、総人口1,364,973人。東に佐賀県と隣接する他は周囲を海に囲まれ、壱岐、対馬、五島列島等の971の島々があり、その数は日本一です。そのため、長崎の地は古くから海外の文化を取り入れる窓口として大きな役割を果たし、江戸幕府の鎖国下の日本では出島が唯一西洋に開かれていた貿易の窓口となり、国際貿易都市として栄えました。幕末には坂本龍馬もこの地に日本発の貿易会社、亀山社中を結成しました。現在は造船の町として発展を遂げ、その豊かな歴史を資源とした観光都市として国内外から多くの人々が訪れています。

今回は、長崎県の魅力をご紹介します。県の中心都市の長崎市にはグラバー園をはじめ異国の文化が垣間見える観光スポットが点在し、キリシタンによって建てられた大浦天主堂や浦上天主堂等の歴史的建造物も多く、稲佐山からの圧巻の夜景は日本新三大夜景にも選ばれています。映画や小説の舞台に多く登場する世界遺産の軍艦島は最近の人気の観光スポットとなっています。また県南部の島原半島では、火山の恩恵による温泉も豊富で硫黄を含んだ雲仙温泉の湯は美容にもよいとされています。県北部の佐世保にはイルミネーションで有名な九州No.1のアミューズメントパーク、ハウステン

平素はお得意様をはじめ仕入先様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。長崎営業所は、営業4名、業務スタッフ4名、倉庫担当1名と私を含めての計10名で長崎県全域と佐賀県の有田市、伊万里市までを営業、配送エリアとして日々活動しております。

所員全員『感謝』の気持ちを常に持ち、お客様又地域に貢献できる営業所を目指して日々取り組んでいますので今後ともご支援、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。



長崎ちゃんぽん



軍艦島

ボスが有り、全国各地から多くの修学旅行生が訪れています。佐世保バーガーも全国的にも有名なソウルフードです。

最後に長崎と言えば「長崎ちゃんぽん」です。全国に知られたご当地料理であり、発祥の地でもあります。ボリューム満点で店によってアレンジも様々、高級食材を使用したリッチなちゃんぽんもあり、中華料理の店が立ち並ぶ新地中華街は基より県内各所で美味しいちゃんぽんが食べられます。皆様、本場長崎のちゃんぽんを味わってみてはいかがでしょうか。「観る・遊ぶ・食べる」のすべてに魅力あふれる長崎県にぜひ一度、来て、見てください。

合板
天気図



晴れ

ジャパン建材 合板部
部長 猪爪 清和

新設住宅着工戸数

2016年11月度の新設住宅着工数は85,051戸（前年同月比106.7%）で5カ月連続の増加となった。その内、木造住宅については50,628戸（同比106.6%）で2カ月連続で5万棟台を続けている。11月度の季節調整済年率換算値は93.7万戸で前月比4.2%減、2カ月連続の減少となるも堅調な推移となっており年計97万戸を超えてもおかしくない。

利用関係別では持家が25,993戸（同比102.7%）で10カ月連続の増加、貸家は38,617戸（同比115.3%）で13カ月連続増加、分譲は20,127戸（同比1.8減%）で3カ月ぶりの減少となった。分譲の内訳はマンションが8,263戸（同比6.9減%）で3カ月ぶりの減少へ転じ、戸建ては11,683戸（同比101.8%）と13カ月連続増加と好調を維持している。貸家が引き続き好調で、全体の数字を押し上げる格好となった。

国内合板

国内針葉樹合板の11月度生産量は25.1万m³（前月比99.8%、前年同月比108.0%）と着工数の伸びに伴い需要も増加しており、市場にお

ける針葉樹合板の引き合いは更に強まってきている。ここ8カ月間、生産量を上回る出荷実績となっており、メーカー在庫量は安定的な供給が望めない水準まで減少している。各メーカーとも受注残を抱え、納期遅れが多発する状況となっている。

1月以降も好調な着工数を背景に、国内針葉樹は堅調な状況が続くと思われる。この品薄状態はもうしばらくの間続くものと思われ、代替品での対応も行われている。

輸入合板

11月度入荷量は23.2万m³（前年同月比99.4%）となった。産地の契約状況などを考慮すると予定通りと思われる。1月の出荷も堅調に推移しており、港頭在庫のバランスが取れたアイテムから値上げが進んでいる現状である。

周知の通り為替の円安も進み、現地シッパーも依然として強気姿勢で、これから輸入コストは間違いなく上昇となり、更なる値上げの方向に向かうと思われる。先行き仕事が見えている分は早め早めに手配することが肝要と考える。

国内・輸入共に晴れの状況が続くと思われる。

JK お客様
センター

お聞かせ下さい。お客様の声！
フリーダイヤル 0120 (563) 568 受付時間：平日 8：30～17：20
土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休暇は、受付を休ませていただきます。

企画
発行

ジャパン建材株式会社 営業推進部
〒136-8405 東京都江東区新木場 1-7-22
TEL:03-5534-3711（代） FAX:03-5534-3855（代）
URL: <http://www.jkenzai.co.jp>